

参考文献一覧

著書

【国内】

- 上田武『陶淵明伝』、東京：汲古書院、1987年
大室幹雄『園林都市—中世中国の世界像』、東京：三省堂、1985年
大矢根文次郎『陶淵明研究』、東京：早稲田大学出版部、1967年
川勝義雄『六朝貴族制社会の研究』、東京：岩波書店、1982年
木村英一編『慧遠研究 遺文篇』、東京：創文社、1960年
酒井忠夫編『道教の総合的研究』、東京：国書刊行会、1977年
佐藤大志『六朝樂府文学史研究』、広島：溪水社、2003年
武内義雄『中国思想史』、東京：岩波書店、1936年
田中淡編『中国技術史の研究』、京都：京都大学人文科学研究所、1998年
田中淡・外村中・福田美穂『中国古代造園資料集成：増補 哲匠録 壘山篇 秦漢 - 六朝』
東京：中央公論美術出版、2003年
中村圭爾『六朝貴族制研究』、東京：風間書房、1987年
中村圭爾『六朝江南地域史研究』、東京：汲古書院、2006年
花房英樹『文選 詩騷編三』（全釈漢文大系 28）、東京：集英社、1974年
松枝茂夫・和田武司『陶淵明全集』上・下、東京：岩波書店、1990年
松田寿男『アジアの歴史』、東京：日本放送協会出版、1971年
宮崎市定『九品官人法の研究』、京都：京都大学文学部内東洋史研究会、1956年
目加田誠『世説新語』上・中・下（新釈漢文大系 76・77・78）、東京：明治書院、上 1975
年、中 1976年、下 1978年
吉川忠夫・船山徹『高僧伝』（一）（二）（三）（四）、東京：岩波書店、（一）（二）2009年、
（三）（四）2010年

【国外】

- 王瑤著、石川忠久・松岡榮志訳『中国の文人—竹林の七賢とその時代』、東京：大修館書店、
1991年
胡阿祥・李天石・盧海鳴『南京通史 六朝卷』、南京：南京出版社、2009年
許輝・蔣福亜『六朝經濟史』、南京：江蘇古籍出版社、1993年
吳功正『六朝園林』、南京：南京出版社、1992年
周維權『中国古典園林史』（第二版）、北京：清華大学出版社、1999年

朱大渭・劉馳・梁滿倉・陳勇『魏晉南北朝社会生活史』、北京：中国社会科学出版社、2005年

劉淑芬『六朝的城市与社会』、台北：台湾学生書局、1991年

西北師範学院地理系・地図出版社主編『中国自然地理図集』、北京：地図出版社、1984年

ピエーロ・カンポレージ著、中山悦子訳『風景の誕生—イタリアの美しき里—』東京：筑摩書房、1997年（原著 Piero Camporesi, *Le Belle Contrade: Nascita del Paesaggio Italiano*, Milano: Garzanti, 1992）

マイケル・サリヴァン著、中野美代子・杉野目康子訳『中国山水画の誕生』東京：青土社、2005年（原著 *The birth of landscape painting in China* / by Michael Sullivan, Berkeley: University of California Press, 1962）

論文

【国内】

上田武「中国古代の隠逸思潮と陶淵明」（上）（下）、（上）『茨城大学人文学部紀要 人文学科論集』29、pp.41-66、1996年・（下）同31、pp.47-68、1998年

岡村繁『『莊老告退、山水方滋』考—澗水の戦の文化史的意義—』、『中国文学論集』32、pp.14-52、2003年

小川環樹「中国の詩における風景の意義」、『立命館文学』264、pp.1-16、1976年（『小川環樹著作集』第一巻、東京：筑摩書房、1997年 所収）

小川環樹「六朝詩人の風景観」、『集刊東洋学』50、pp.25-33、1983年（『小川環樹著作集』第一巻、東京：筑摩書房、1997年 所収）

越智重明「清議と郷論」、『東洋学報』48-1、pp.1-48、1965年

川合安『『宋書』と劉宋政治史』、『東洋史研究』61-2、pp.201-229、2002年

河原武敏「海を渡った園林」、『しにか』2、pp.22-28、1994年

北島大悟「翻訳『宋書』隠逸伝論訳注」、『立教大学文学部紀要』26(2)、pp.87-108、2013年

北島大悟「沈約の隠逸思想：『宋書』隠逸伝論を中心として」、『青山語文』43、pp.21-30、2013年

齋藤希史「<居>の文学—六朝山水／隠逸文学への一視座」、『中国文学報』42、pp.61-92、1990年

佐伯雅宣「六朝の行旅詩—旅夜の変遷—」、『中国中世文学研究』61、pp.17-32、2012年

佐倉香「レオナルド・ダ・ヴィンチの自然観察と芸術—「水」のモチーフに見る独自性に

- について』、『立教大学文学部紀要』13-2、pp.75-122、2000年
- 佐藤智水「中国における初期の『邑義』について（下）—北魏における女性の集団造像」、
『佛教文化研究所紀要』51、pp.105-139、2012年
- 妹尾達彦「江南文化の系譜—建康と洛陽」（一）（二）、（一）『六朝學術学会報』14、pp.69-141、
2013年・（二）同15、pp.77-112、2014年
- 外村中「中国の同泰寺の園池について」、『ランドスケープ研究』62-4、pp.396-399、1999
年
- 外村中「梁の沈約の郊居について」、『ランドスケープ研究』64-3、pp.266-269、2001年
- 外村中「北周の庾信と南朝建康の東宮の園林および『小園賦』について」、『ランドスケープ
研究』65-4、pp.334-344、2002年
- 外村中「西晋の潘岳の閑居と山水論について」、『ランドスケープ研究』68-2、pp.165-173、
2004年
- 高畑常信「王羲之の思想と隱逸」、『東京学芸大学紀要 二部門』34、pp.197-207、1983年
- 戸川貴行「東晋南朝の建康における華林園について—「詔獄」を中心としてみた—」、『東
洋文化研究』15、pp.33-57、2013年
- 中尾健一郎「中国の詩人とトポフィリア—陪都の文学」、『日本文学研究』45、pp.39-50、
2010年
- 野田俊昭「両晋南朝の清議・郷論と天子の支配権力」、『古代文化』54-1、pp.15-27,55-56、
2002年
- 森村謙一「中国園林植物小見」、田中淡編『中国技術史の研究』（京都：京都大学人文科学
研究所）、pp.173-204、1998年
- 宮川尚志「孫恩・盧循の乱について」、『東洋史研究』30-2,3、pp.1-30、1971年
- 村上嘉実「六朝の庭園」、『古代学』4-1、pp.41-60、1955年（同『六朝思想史研究』、京都：
平楽寺書店、1974年 所収）
- 矢野主税「土断と白籍—南朝の成立」、『史学雑誌』79-8、pp.46-83、1970年
- 山崎孝雄「義熙土断における晋陵郡の除外について」、『史海』7、pp.11-19、1960年、
- 呂舟「古代中国における庭園の発展および浄土と浄土庭園」、『「東アジアにおける理想郷と
庭園に関する国際研究会」の成果について』、pp.20-38、2009年

【国外】

- 韋鳳娟「魏晋的莊園經濟与山水詩的興起」、『江漢論壇』1982-10、pp.45-50、1982年
- 王永平「東晋南朝時期廬江何氏与琅邪王氏婚媾交游考—從一个側面看廬江何氏門第与地位
得以維系之原因」、『許昌学院学報』27-4、pp.21-24、2008年
- 王相飛「從吳越山水到荆楚風物」、『文学遺產』2014-5、pp.55-63、2014年
- 孔定芳「江南風景与六朝名士」、『咸寧師範学報』13-4、pp.57-60、1993年

- 胡秋銀「論漢晉南朝的隱逸政策」、『社会科学輯刊』2002-1、pp.101-107、2002年
- 胡翼鵬「社会理想与隱逸情懷—以陶淵明為中心的考察」、『アジアの歴史と文化』18、pp.93-100、2014年
- 時国強「漢魏六朝山水觀念的變遷」、『社科縱橫』2010-8、pp.91-3,100、2010年
- 朱文鎮、黃平芳「東晉南朝隱士隱居地的地理的分布及其成因、影響」、『長安大學學報（社會科學版）』5-4、pp.3-5,10、2003年
- 葉曉梅「隱士、移民与南方社会文化景觀的構建—以南朝士人隱居地為中心」、『黑龍江史志』2015-5、pp.214-215、2015年
- 秦冬梅「論東晉北方士族与南方社会的融合」、『北京師範大學學報（社會科學版）』2003-5、pp.134-141、2003年
- 鄭欣「洛陽玄風与南朝文化」、『烟台大學學報（哲學社會科版）』1991-1、pp.11-13、1991年
- 李樹華「中国における庭石と盆意志の鑑賞法の形成・定義およびその応用について」、田中淡編『中国技術史の研究』（京都：京都大学人文科学研究所）、pp.141-172、1998年
- 李伯重「東晉南朝江東的文化融合」、『歷史研究』2005-6、pp.91-107、2005年
- 劉淑芬「六朝會稽士族」、『中央研究院歷史語言研究所集刊』56-2、pp.285-327、1985年
- 李亮「山水隱逸与資生適性—以謝靈運中心」、『中華文史論叢』49、pp.233-246、1992年
- 盧海鳴「六朝建康的私家園林」、『東南文化』114、pp.92-94、1996年